

様式 2

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第 1 学 年 第 2 学 年 第 3 学 年 第 4 学 年 第 5 学 年 第 6 学 年	書 写 134 書 写 234 書 写 334 書 写 434 書 写 534 書 写 634	しょうがくしょしゃ 1 小学しょしゃ 2 小学書写 3 小学書写 4 小学書写 5 小学書写 6
観点				
取 扱 内 容	<p>硬筆について 第 1, 2 学年では、画の長さや方向に気を付けたり、画の付き方や交わり方に気を付けて書いたりする活動を通して、文字を正しく書く、第 3, 4 学年では、いろいろな文字の組立て方に気付いたり、筆順に気を付けて書いたりする活動を通して、文字の形を整えて書く、第 5, 6 学年では、ポスター用紙や色紙など様々な用紙に合わせて書く活動を通して、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めて書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>毛筆について 第 3, 4 学年では、1～2 字の漢字や平仮名の題材で、点画の形とその形を作る筆の運び方に注意しながら書く活動を通して、点画の種類を理解し筆圧などに注意して書く、第 5, 6 学年では、漢字仮名交じりの文言の題材で、小筆や筆ペンなどを使用して点画相互、文字のつながりを意識して書く活動を通して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>硬筆と毛筆の関連について 第 3, 4 学年では、筆圧や筆使い、筆順と点画の接し方の理解など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける、第 5, 6 学年では、文字の組立てや大きさ、目的にあった筆記具の利用など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、毛筆による書写の学習により硬筆による書写の能力の基礎を身に付けるなど、硬筆と毛筆の関連を図った教材を 40 扱い、目標を達成できるようになっている。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応について 第 1, 2 学年では、「書いてつたえよう」において、友達のよいところをカードに書いたり、お世話になった人に招待状を書いたりするなど、第 3, 4 学年では、「書いて伝えよう」において、おすすめの本のカードを書いたり、記事の配置を考えて筆記具を工夫して新聞を書いたりするなど、第 5, 6 学年では、「書いて伝えよう」において、様々な筆記具を使ってポスターなどを書いたり、卒業記念文集を書いたりするなど、日常生活との関連を図った教材を 26 扱い、基礎的、基本的な知識、技能の習得を図る活動を取り上げている。</p>			
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	<p>内容の構成・排列について 第 1 学年では、平仮名について「曲がり、折れ」など、点画や文字の形の学習の後に、片仮名や漢字の学習を取り扱い、第 2 学年では、漢字について筆順、点画の方向、点画の接し方や交わり方の学習の後に、文章表記を取り扱い、第 3 学年では、毛筆について 1 字の漢字の始筆、送筆、終筆や点画、筆圧、字形の学習の後に、2 字の平仮名の「曲がり」などの筆使いについて取り扱い、第 4 学年では、毛筆について基本点画を反復し、穂先の向きと画の方向の学習の後に、2 字の漢字の筆順と字形の関係や平仮名の筆使いを取り扱い、第 5 学年では、文字の組立て方の学習から、2 字の漢字の組立て方や点画のつながり、筆順の学習の後に、字形や文字の大きさ、字間の調節や配列について取り扱い、第 6 学年では、毛筆と硬筆の関連を図った 2 字の漢字の組立て方や点画のつながりの学習の後に、4～6 字の文字の大きさ、行の中心、余白について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>内容の分量について 第 1 学年～ 硬筆は 39 ページであり、総ページ数は 45 ページである。 第 2 学年～ 硬筆は 33 ページであり、総ページ数は 41 ページである。 第 3 学年～ 硬筆は 6 ページ、毛筆は 35 ページであり、総ページ数は 59 ページである。 第 4 学年～ 硬筆は 8 ページ、毛筆は 33 ページであり、総ページ数は 57 ページである。 第 5 学年～ 硬筆は 10 ページ、毛筆は 28 ページであり、総ページ数は 49 ページである。 第 6 学年～ 硬筆は 3 ページ、毛筆は 34 ページであり、総ページ数は 49 ページである。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>学習のガイダンスをするキャラクターが登場したり（全学年）「おおきなかぶ」（第 1 学年）や「枕草子」（第 6 学年）などの国語の教科用図書との関連を図った教材を 20 取り扱っており、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>学習のポイントや他の文字での応用を図る段階を示したり（第 4～6 学年）教材ごとに自己評価欄を設けたり（全学年）するなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>巻頭に書写に関連した教材（全学年）や、裏表紙に児童自らが繰り返し確認できるよう筆記具の持ち方（全学年）を示したり、レイアウトや表現方法を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	北海道と関連を図った教材は、「北海道の地図と地名入りの観光案内ポスター」など、4 箇所取り上げられている。			